

第4期鎌ヶ谷市地域福祉計画に対する地域福祉計画策定・推進委員会委員の意見一覧表（令和3年度事業）

意見	主な取組		No.	事業名	取組に対する意見、要望、協力できることなど	担当課	市の考え（事業担当課）
1	01]	市民に対する意識啓発や参加促進、人材育成等の総合的な支援	2	ボランティアの活動しやすい環境づくり	地域共生社会の実現には支えあうボランティアが必要であり、企業等へのボランティア参加要請などを広報紙を活用して周知することを検討いただきたいです。	市民活動推進課	地域共生社会の実現に向けた、働き盛り世代の人材に地域へ関わってもらおう仕掛けについて、市民活動推進課では「鎌ヶ谷市協働のためのアクションプラン22」において、アクション13「働き盛り世代を巻き込む仕掛けの創出」やアクション18「プロボノの活用」などを位置付けています。 これらの計画に基づき、企業などにお勤めの方も地域へ関わりやすい機会を設けることができるよう、事業などについて検討して参ります。
						社会福祉協議会	企業等への社会貢献活動への関心は年々増加しており、ボランティアに参加できるメニュー等の拡大と周知に努めてまいります。
2	02]	将来の担い手育成の支援	7	ボランティアの育成と連携機能の強化	新型コロナウイルス感染症のためトレーニングセンターが中止になり、今後も縮小傾向にあることは残念です。ただ市内の小中学校がJRCの精神を受け継ぎ、それぞれの学校と地域が特色あるボランティア活動を展開していくことに期待しています。除草・清掃活動や、学区に花のプランターを設備する活動など無理のない計画を工夫できたら良いと思います。	学校教育課	令和3年度は中止となりましたが、令和4年度は市内学校に児童生徒が集まる形で日帰りでのトレーニングセンターを実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大状況にもよりますが、今後も同様の形をとっていく予定です。
						社会福祉協議会	コロナ禍においても、一部のJRC委員会より、手話の出前講座の依頼をいただいております。引き続き、感染対策を講じながら、障がい福祉についてや高齢者疑似体験や車いす体験等の出前講座を継続してまいります。
3	02]	将来の担い手育成の支援	8	福祉の学習機会の推進	先行き不透明な感染症の推移ですが、学校における福祉体験は今後も継続していただきたいと考えます。障がいについての知識・理解だけでなく、自分事として実感を伴った理解がボランティアに繋がっていくことに期待しています。	高齢者支援課	コロナ禍にあつて認知症サポーター養成講座につきましては実施ができない期間がありました。 正しい知識の普及と認知症の人とその家族にやさしい地域づくりができるよう、感染症予防に留意しながら実施してまいります。
						社会福祉協議会	学校における福祉体験等は今後も継続していきたいと考えております。体験メニューについては、障がい福祉についてや高齢者疑似体験や車いす体験などのメニューがあり、事前に授業担当の先生と打ち合わせを実施し、体験メニューを決めております。授業では、体験だけで終わらずに、いかに自分事として考えてもらえるかを主眼に継続していきたいと考えております。
4	04]	ふれあい・支えあい活動に対する支援	12	地域の交流イベント等への参加への支援	福祉健康フェアについては、コロナ禍のなか、令和2年度、3年度と中止になりました。「課題や今後の取組」欄に記載のとおり、福祉健康フェアは市内外の多くの関係団体の活動の場であり、そこでは団体ごとの相互交流も図り、かつ広く市民にそれらを周知できる貴重な機会となっているようです。 今後「イベントの開催方法等を検討する。」とありますが、コロナ禍においても、どのような形であれ、イベントの趣旨を継続していける工夫が必要かと思えます。ウィズコロナと言いつつも、感染防止との両立は極めて困難でなかなか難しい問題とは思いますが、よろしく願います。	健康福祉部（社会福祉課）	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続き、来場者の安全を最優先する観点から、福祉健康フェアを中止とさせていただきます。 一方で、市民に福祉や健康に関する情報を提供し、楽しみながら福祉を学び、健康への関心を高めていただくという福祉健康フェアの趣旨を考慮して、今後は、福祉健康関係団体等の活動紹介のパネル展示を行うなど、コロナ禍においても実現可能な開催方法を検討してまいります。
						社会福祉協議会	すまいる祭りについては、不特定多数が集まるイベント型の開催を中止し、市内9か所の就労継続支援B型事業所の紹介パネルを商業施設等に展示しました。引き続き、コロナ禍におけるイベントの開催方法の検討や障がい者福祉の効果的な啓発活動の検討してまいります。

意見	主な取組		No.	事業名	取組に対する意見、要望、協力できることなど	担当課	市の考え（事業担当課）
5	06]	学習の場や社会参加等を通じたふれあい機会づくり	20	シルバー人材センターへの支援	近年、高齢化が進み自宅の植木が大きくなって自分では手入れが難しくなってきました。自治会や植木屋さんをお願いしたりもするのですが、思うようにいかない場合があります。 先日相談された方は、シルバー人材センターに植木の手入れをお願いしたら、ひと月おかないと予約できませんと言われたそうです。 シルバー人材センターの方の人材確保ができる手立てはないでしょうか。	高齢者支援課	庭木の手入れについて、シルバー人材センターでは毎年度依頼に応じきれないほどの問い合わせがあり、年間の予約が埋まってしまった後は、依頼を断っている状況であると聞いております。 また、庭木の手入れについては、一定の技術が必要なこともあり、シルバー人材センターでも、人材の確保について苦慮しているとのことです。 市でも、広報やポスター掲示等で協力をしておりますが、引き続き会員の増加が図れるよう支援してまいります。
6	07]	地域包括ケアシステムの深化・推進	22	地域包括支援センター	基本目標のなかにおいて、鎌ヶ谷市の地域包括ケアシステムがうまく機能するかどうかは、地域福祉計画の成否の要だとの理解をしております。 令和3年度は、相談件数が334件で「概ね順調だが、不十分な点が少しある」との評価です。大切なところなので、どこまで機能するようになったとか、もう少し詳細な説明をされても良いのではないかと思います。	高齢者支援課	高齢者人口の増加、認知症の人の増加により、相談内容が多種多様となり、他部門、他機関との連携が必要となり、問題解決に時間がかかる相談が増加しています。 庁内連携、他機関連携をより一層強化していくとともに、自助、互助等の地域住民の力を発揮できるよう地域づくりを引き続き実施していきます。
7	10]	乳幼児、児童から高齢者まで地域で見守る体制の充実	30	民生委員・児童委員活動への支援	民生委員・児童委員の改選方法や活動内容についての周知が十分でないように感じます。地域コミュニティの希薄化が懸念されるなか、民生委員の役割は大きいと思います。各自治会で、地域住民と民生委員が自然に交流できる工夫をお願いします。	社会福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響により、民生委員の活動が制限され、満足に地域住民との交流を行うことができませんでしたが、令和4年度より、高齢者宅の訪問をはじめ、訪問活動を再開しております。 また、各種民生委員向けの研修において、積極的に地域住民との交流の場に参加することを促しております。 今後も、広報等を活用し、地域の身近な相談相手として民生委員がいるということを市民へ周知してまいります。
						社会福祉協議会	広報紙を活用し、活動内容の周知に努めます。 また、様々な機会をとらえて、地域住民と民生委員が交流できるように努めてまいります。
8	12]	子育ての相談支援体制の充実	41	子どもの教育に関する相談	今後ますます相談内容の多様化・複雑化が進むと思われます。相談員数が限られているなかで、各学校の負担が増えることを懸念します。心理発達相談員数を増やすことが望まれますが、例えば相談内容によっては相談経験のある方を募り窓口になっていただくこと等も考えていってはどうかと思えます。	学校教育課	児童・生徒の教育相談に関しては、心理発達相談員が同一の相談に対して継続して受けています。 様々な相談があるなかで専門的な知識が必要となることも多く、学校からあがってきた問題に、可能な限り迅速に対応していきます。相談経験のある方に窓口になっていただくことも含め、最善の方法を模索していきます。
						青少年センター	電話相談、来所相談及び青少年インターネット目安箱により、問題行動や悩みを抱えた少年と保護者の援助及び指導行っております。 また、場合に応じて、相談者の家庭を訪問して相談活動を行います。 さらに、必要に応じて学校、警察、児童相談所、こども総合相談室等と連携を図り問題の早期解決に努めます。
9	14]	健康に関する相談支援等の充実	46	健康相談事業	長く健康で自立した生活を送りたい、そんな方への動機づけやモチベーション維持の為に「毎日〇〇歩以上歩く」、「健康診断を受ける」などの、健康を意識した活動に、ポイントやプレゼントなどのインセンティブを提供することを検討していきたいです。	健康増進課	県では、健康事業に参加して得られるポイントを一定以上獲得すると協賛店で優待サービスが受けられる「元気ちば！健康チャレンジ事業」を実施しており、令和4年7月1日時点で県内26市町村が参加していますが、近隣市では中核市のような規模が大きい市が参加しているところですが、参加している市町村からは様々な課題が挙げられていること、県においても紙媒体を電子媒体に変更するなど今後も変更が見込まれることから、市としては今後の動向を注視してまいります。 市では健康増進計画である「第3次いきいきプラン・健康かまがや21」に基づき、全庁的な取組で市民の健康づくりに努めてまいります。
10	15]	生活困窮者への自立支援	50	子どもの学習・生活支援事業	安心して過ごせる居場所としての事業は大切だと思います。事業内容に、自習形式での学習支援とありますが、子どもの学習のつまづきにはどのように対応されるのでしょうか。疑問や質問にその場で答えられるような体制を整えていき、子どもたちの学習意欲を育てていっていただきたいと思えます。	社会福祉課	子どもの学習・生活支援事業は、生活困窮家庭の子どもの学習支援のほか、子どもの居場所づくりや仲間との交流といった観点から実施しております。 従って、授業形式ではなく、子どもの自主性を尊重し、自習形式で実施しておりますが、事業の受託者より、ボランティアスタッフを派遣いただき、子どもの質問に応えるなどの学習の補助を担っていただいております。また、月に1回受託者と定期協議を行い、学習支援の進捗状況や課題について共有しております。 今後も子どもの学習・生活支援事業の受託者と定期的に協議を行い、改善を図ってまいります。

意見	主な取組		No.	事業名	取組に対する意見、要望、協力できることなど	担当課	市の考え（事業担当課）
11	16]	情報提供体制の充実	52	広報紙等の充実	<p>広報紙の充実について「順調に進んでいる」との評価で、大変良いことだと思います。さまざまな行政の施策や市民の活動につき情報提供し、広く周知することは、市政への理解、協力を得ることに資するだけでなく、「鎌ヶ谷市民で良かった」という市民感覚の醸成にもつながることと思います。</p> <p>高齢化率が30%になろうとするなか、紙による見やすい紙面を工夫し、新聞未購読の方やネットをやらない人も読める、見ることのできる状況をつくっていることは極めて大切なことと思います。</p> <p>前年の発行回数、部数にあまりとらわれることなく、必要に応じてどんどん情報を発信していけるような市の広報活動であってほしいと思います。</p>	広報広聴室	引き続き、読みやすい広報紙を作成し、市政情報の提供や市への愛着の醸成など、広報紙の充実に取り組んでまいります。 また、情報発信につきましては、インターネットなどを利用されない方も情報を得られるよう、配置場所の拡大など効果的な方法を検討してまいります。
12	16]	情報提供体制の充実	53	市ホームページの管理・運営	<p>訪問したい部署の知りたい項目にたどり着くのに時間がかかり、あまり親切に説明がされていないように思います。各項目の最初のページに、もう少し詳しく説明がされたようなページ案内を記した索引が掲載されていると助かります。</p>	広報広聴室	<p>市ホームページのコンテンツ(記事)については、平成30年6月に実施した市ホームページリニューアル事業において、市の組織を知らない方でも望んだコンテンツにたどり着ける構造として整備しておりますが、市のコンテンツ内容が多岐にわたっていることなどが、今回の指摘に繋がっていると認識しています。</p> <p>今後は、提案のあった「各項目の最初のページに、もう少し詳しく説明がされたようなページ案内を記した索引の掲載」も含め、より分かりやすい市ホームページとするために調査・研究を重ね、改善を図ります。</p> <p>なお、市ホームページ上の画面右上の検索機能を活用することで、目的のコンテンツへたどり着くまでの時間を短縮することが可能です。</p>
13	18]	防災対策の充実強化と防災意識の高揚	56	総合防災訓練	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、総合防災訓練は中止となりました。しかし評価欄は「順調に進んでいる」との記載で「市民に向けた防災啓発事業等を実施し、市民の防災意識が向上した」とありました。</p> <p>総合防災訓練は、これまで市をあげて9月～10月にイベントとして大規模に実施していたもので、そこで市民は防災活動を体験することで多くの気づきもあり、そこからまた行政への要望などもたくさん出されていたと思います。市民の「命」に関わる問題ですから、コロナ禍においても、何らかの工夫をして、訓練はマストと捉えることもできます。</p> <p>「防災啓発事業等の実施」が訓練の実施を中止しても「順調に進んでいる」と言える効果があったのであれば、もう少し内容の詳細を記載しても良いのではと思いました。</p>	安全対策課	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止とした総合防災訓練の代案として、市内全域を訓練対象とし、訓練開始合図で、一斉にそれぞれの場所で地震から身の安全を守る安全確保行動を行う「シェイクアウト訓練」の実施や、市ホームページ上に「オンライン防災ひろば」を掲載し、各関係機関の協力を得て作成した防災に関する豆知識やクイズを通じて、市民の防災意識の向上に貢献できたと考えております。</p>
14	20]	安心・安全な道路環境と移動手段の確保	62	コミュニティバス運行助成事業	<p>鎌ヶ谷市も高齢化が急速に進んでいます。そろそろ自家用車の運転免許を返納しようかと考えている人が多いと思います。その代替手段としてコミュニティバスの利用が期待されます。そのためにバスの増便や利便性の改善、ルート短縮化が期待されます。そうすれば今後、もっと活用される頻度が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>福祉予算が膨らむと思いますが、安定して運行できた先に、市民が便利だと感じる時期が来れば、運賃を多少高くしてもっと利用されるのではないのでしょうか。検討をお願いします。</p>	都市政策室	<p>ご要望のありました、バスの増便や利便性の改善、ルート短縮化などにつきましては、次期運行計画のための貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>

意見	主な取組	No.	事業名	取組に対する意見、要望、協力できることなど	担当課	市の考え（事業担当課）
15	22]	70	成年後見制度利用支援事業	<p>市町村申立制度については、国の第2期（成年後見制度利用促進）基本計画の議論においても「成年後見の社会化促進」のキーワードとして注目されており、今年度の国の研究事業で、その実施状況や課題について実態把握をすることとなり、他方市町村・中核機関向け「市町村長申立の実務能力向上のための研修」も開催される予定です。</p> <p>現状の鎌ヶ谷市における障害関係の市長申立の実績は1件だけで、市の人口規模で考えてもあまりにも少ない実情にあります。今後、その個別具体的判断を「地域に開かれたもの」つまり「地域連携ネットワークに委ねる」ことが求められているので前向きにご検討ください。</p>	社会福祉課 障がい福祉課 高齢者支援課	<p>地域連携ネットワークにつきましては、まだ鎌ヶ谷市では構築できておりません。現在、他市でどのような形態で地域連携ネットワークづくりを展開しているのか、調査・研究している段階でございます。</p> <p>なお、令和4年11月21日付けで、地域連携ネットワークとその中核となる機関の整備に係る進捗について、近隣11市に照会し、現在回答を取りまとめているところです。今後、他市の取組状況を参考に、鎌ヶ谷市でも地域連携ネットワークのあり方の検討を進めてまいります。</p>
	22]	70	成年後見制度利用支援事業	<p>地域連携ネットワークの第一歩を踏み出してほしい。</p> <p>市町村計画・中核機関・協議会の設置等についての市としての考え方や方針を明確にし、地域の体制整備の構築に早期に着手していただきたいと要望します。</p>	社会福祉課 障がい福祉課 高齢者支援課	
	22]	70	成年後見制度利用支援事業	<p>私は長く成年後見の実務に携わる社会福祉士の一人として関心があったため、令和3年初め「中核機関関係の国の研修受講に必要な推薦」を正式文書で要望しましたが、納得できる説明もなく、（高齢者支援課長と社会福祉課長から）即刻拒否されました。</p> <p>幸いその年は、長野県主催の同等の「オンライン研修」を申込み、特別に受講させてもらうことができましたが、やる気のある関係者へのこうした対応だけは二度としないしてほしいと切に願います。</p>	社会福祉課 障がい福祉課 高齢者支援課	
16	-	-	-	<p>ファイターズスタジアムの花火大会当日、道路が非常に渋滞しており大変困りました。</p> <p>当日の現場地図とか、道路の通行の案内地図等を作って配布してみてもいいでしょうか。</p>	企画政策室	<p>「かがやの花火」につきましては、かがやの花火実行委員会が主催しておりますが、市の地域活性化等につながることから、市及び教育委員会が後援を決定しております。</p> <p>「かがやの花火」開催後には、警備体制、コロナ感染対策、誘導方法など多くの方からご意見をいただいたことから、令和5年度につきましては、安全確保を最優先に、開催場所の変更も含め実行委員会と協議を進めてまいります。</p>